

日本文教出版(旧大阪書籍)版

小学算数6年上

(補助教材対応版)

教 科 書 ガ イ ド

<もくじ>

2 分数のたし算とひき算 …………… 2

合同な図形 …………… 10

(7月の教材まで)

●お願い

この資料をプリンターで印刷される場合は、A4判の用紙に印刷してください。

日本教育研究センター

## 2 分数のたし算とひき算

### ここで勉強すること

- ◎帯分数のたし算ができるようになる。
- ◎帯分数のひき算ができるようになる。
- ◎分母の異なる3つの分数のたし算・ひき算ができるようになる。

### これまでに勉強したこと

#### 1 分数のたし算・ひき算

- ▶分母が同じ分数では、分母はそのまま、分子どうしの計算をします。

$$\frac{2}{5} + \frac{1}{5} = \frac{3}{5} \quad \frac{4}{5} - \frac{3}{5} = \frac{1}{5}$$

- ▶分母の異なる分数では、分母を通分してから計算します。  
答えが約分できるときは、約分しておきます。

$$\frac{1}{2} + \frac{5}{6} = \frac{3}{6} + \frac{5}{6} = \frac{8}{6} = \frac{4}{3}$$

通分する。  $\frac{3}{3}$  約分する。

$$\frac{5}{6} - \frac{1}{2} = \frac{5}{6} - \frac{3}{6} = \frac{2}{6} = \frac{1}{3}$$

通分する。  $\frac{3}{3}$  約分する。

### 教科書のまとめ

#### 1 帯分数どうしのたし算

- ▶帯分数を仮分数になおしてから通分して計算できます。  
また、帯分数を整数と真分数に分けて考え、それぞれのたし算をすることもできます。

#### 2 帯分数どうしのひき算

- ▶帯分数を仮分数になおしてから通分して計算できます。  
また、帯分数を整数と真分数に分けて考え、それぞれのひき算をすることもできます。

#### 3 分母の異なる3つの分数のたし算・ひき算

- ▶3つの分母の最小公倍数で通分して計算します。

●補助教材2ページ

①  $1\frac{1}{2} + 2\frac{1}{3}$  の計算のしかたを考えましょう。

(1) 2人の考えを説明しましょう。

たいきさん

$$\begin{aligned} 1\frac{1}{2} + 2\frac{1}{3} &= \frac{3}{2} + \frac{\square}{3} \\ &= \frac{\square}{6} + \frac{\square}{\square} \\ &= \frac{\square}{\square} \\ &= \frac{\square}{\square} \end{aligned}$$

あおいさん

$$\begin{aligned} &1\frac{1}{2} \\ &2\frac{1}{3} \\ 1\frac{1}{2} + 2\frac{1}{3} &= 1\frac{3}{6} + 2\frac{\square}{\square} \\ &= 3\frac{\square}{\square} \end{aligned}$$

◎考え方 帯分数の計算で、帯分数を仮分数になおして計算するしかたと、帯分数を整数と真分数に分けて計算する仕方です。

◎答え たいきさん…帯分数を仮分数になおして、計算している。

$$1\frac{1}{2} + 2\frac{1}{3} = \frac{3}{2} + \frac{7}{3} \quad \leftarrow \text{帯分数を仮分数になおす。}$$

$$= \frac{9}{6} + \frac{14}{6} \quad \leftarrow \text{通分する。}$$

$$= \frac{23}{6}$$

$$= 3\frac{5}{6} \quad \leftarrow \text{仮分数を帯分数になおす。}$$

あおいさん…整数と真分数に分けて計算している。

$$1\frac{1}{2} + 2\frac{1}{3} = 1\frac{3}{6} + 2\frac{2}{6} \quad \leftarrow \text{真分数を通分する。}$$

$$= 3\frac{5}{6} \quad \leftarrow \text{それぞれのたし算をする。}$$

◎大切なこと

帯分数のたし算では、帯分数を仮分数になおしてから通分して計算できます。また、帯分数を整数と真分数に分けて考え、それぞれのたし算をすることもできます。

●補助教材2ページ

㉓ 1	$2\frac{1}{5} + 3\frac{2}{3}$	$1\frac{1}{4} + 2\frac{2}{7}$	$3\frac{1}{4} + 2\frac{2}{3}$
	$1\frac{2}{5} + \frac{1}{3}$	$2\frac{2}{3} + \frac{1}{4}$	$\frac{1}{6} + 1\frac{3}{5}$

◎考え方 たいきさんやあおいさんの考え方のどちらかを使って、答えを求めましょう。

答え	$2\frac{1}{5} + 3\frac{2}{3} = 2\frac{3}{15} + 3\frac{10}{15}$ $= 5\frac{13}{15}$	$1\frac{1}{4} + 2\frac{2}{7} = 1\frac{7}{28} + 2\frac{8}{28}$ $= 3\frac{15}{28}$
	$3\frac{1}{4} + 2\frac{2}{3} = 3\frac{3}{12} + 2\frac{8}{12}$ $= 5\frac{11}{12}$	$1\frac{2}{5} + \frac{1}{3} = 1\frac{6}{15} + \frac{5}{15}$ $= 1\frac{11}{15}$
	$2\frac{2}{3} + \frac{1}{4} = \frac{8}{3} + \frac{1}{4}$ $= \frac{32}{12} + \frac{3}{12}$ $= \frac{35}{12}$ $= 2\frac{11}{12}$	$\frac{1}{6} + 1\frac{3}{5} = \frac{1}{6} + \frac{8}{5}$ $= \frac{5}{30} + \frac{48}{30}$ $= \frac{53}{30}$ $= 1\frac{23}{30}$

●補助教材3ページ

② 次の計算のしかたを考えましょう。

<p>①</p> $1\frac{3}{4} + 2\frac{5}{6} = 1\frac{\square}{12} + 2\frac{10}{12}$ $= 3\frac{\square}{12}$ $= 4\frac{\square}{12}$	<p>②</p> $2\frac{5}{6} + 1\frac{4}{15} = 2\frac{\square}{30} + 1\frac{8}{30}$ $= 3\frac{\cancel{30}^{\square}}{\cancel{30}^{\square}}$ $= \square\frac{\square}{10}$
---	--

◎考え方 補助教材2ページのおおいさんの考え方で計算しましょう。

- ① 答えは整数と仮分数ではなく、帯分数にしましょう。  
 ② 答えは約分をしてから、帯分数にしましょう。

①  $1\frac{3}{4} + 2\frac{5}{6} = 1\frac{9}{12} + 2\frac{10}{12}$     ②  $2\frac{5}{6} + 1\frac{4}{15} = 2\frac{25}{30} + 1\frac{8}{30}$

$$= 3\frac{19}{12} \qquad = 3\frac{33}{30}$$

$$= 4\frac{7}{12} \qquad = 4\frac{1}{10}$$

●補助教材3ページ

②  $3\frac{5}{6} + 2\frac{3}{8}$        $1\frac{2}{9} + 1\frac{5}{6}$        $2\frac{3}{5} + \frac{4}{7}$

$1\frac{1}{4} + 3\frac{11}{12}$        $3\frac{3}{10} + 1\frac{5}{6}$        $\frac{5}{14} + 1\frac{1}{7}$

②  $3\frac{5}{6} + 2\frac{3}{8} = 3\frac{20}{24} + 2\frac{9}{24}$        $1\frac{2}{9} + 1\frac{5}{6} = 1\frac{4}{18} + 1\frac{15}{18}$

$$= 5\frac{29}{24} \qquad = 2\frac{19}{18}$$

$$= 6\frac{5}{24} \qquad = 3\frac{1}{18}$$

$2\frac{3}{5} + \frac{4}{7} = 2\frac{21}{35} + \frac{20}{35}$        $1\frac{1}{4} + 3\frac{11}{12} = 1\frac{3}{12} + 3\frac{11}{12}$

$$= 2\frac{41}{35} \qquad = 4\frac{14}{6}$$

$$= 3\frac{6}{35} \qquad = 5\frac{1}{6}$$

$3\frac{3}{10} + 1\frac{5}{6} = 3\frac{9}{30} + 1\frac{25}{30}$        $\frac{5}{14} + 1\frac{1}{7} = \frac{5}{14} + 1\frac{2}{14}$

$$= 4\frac{34}{30}$$

$$= 5\frac{2}{15} \qquad = 1\frac{7}{14}$$

$$= 1\frac{1}{2}$$

●補助教材3 ページ

③  $\frac{1}{6}kg$  のかごに,  $1\frac{7}{8}kg$  のみかんを入れました。

全体の重さは何  $kg$  になりましたか。

◎考え方  $\frac{1}{6} + 1\frac{7}{8} = \frac{4}{24} + 1\frac{21}{24} = 1\frac{25}{24} = 2\frac{1}{24}$

④ 答え  $2\frac{1}{24}kg$

●補助教材4 ページ

③  $3\frac{2}{3} - 1\frac{1}{5}$  の計算のしかたを考えましょう。

(1) 2人の考えを説明しましょう。

あやかさん

$$3\frac{2}{3} - 1\frac{1}{5} = \frac{11}{3} - \frac{\square}{5}$$

$$= \frac{\square}{\square} - \frac{\square}{\square}$$

$$= \frac{\square}{\square}$$

$$= \frac{\square}{\square}$$

つばささん

$$3\frac{2}{3} - 1\frac{1}{5} = 3\frac{10}{15} - 1\frac{\square}{15}$$

$$= \frac{\square}{\square}$$

◎考え方 帯分数の計算で, 帯分数を仮分数になおして計算するしかたと, 帯分数を整数と真分数に分けて計算する仕方です。

④ 答え あやかさん…帯分数を仮分数になおして, 計算している。

$$3\frac{2}{3} - 1\frac{1}{5} = \frac{11}{3} - \frac{6}{5} \quad \leftarrow \text{帯分数を仮分数になおす。}$$

$$= \frac{55}{15} - \frac{18}{15} \quad \leftarrow \text{通分する。}$$

$$= \frac{37}{15}$$

$$= 2\frac{7}{15} \quad \leftarrow \text{仮分数を帯分数になおす。}$$

つばささん…整数と真分数に分けて計算している。

$$3\frac{2}{3} - 1\frac{1}{5} = 3\frac{10}{15} - 1\frac{3}{15} \quad \leftarrow \text{真分数を通分する。}$$

$$= 2\frac{7}{15} \quad \leftarrow \text{それぞれのひき算をする。}$$

**大切なこと**

帯分数のひき算では、帯分数を仮分数になおしてから通分して計算できます。  
また、帯分数を整数と真分数に分けて考え、それぞれのひき算をすることもできます。

●補助教材4ページ

④ 次の計算のしかたを考えましょう。

$$\textcircled{1} \quad 3\frac{1}{3} - 1\frac{1}{2} = 3\frac{\square}{6} - 1\frac{\square}{\square}$$

$$= 2\frac{\square}{6} - 1\frac{\square}{\square}$$

$$= \square\frac{\square}{\square}$$

$$\textcircled{2} \quad 5\frac{1}{6} - 3\frac{9}{10}$$

◎考え方 補助教材4ページのつばささんの考え方で計算しましょう。

- ①分数どうしのひき算でひけないときは、整数部分から1だけ分数部分におろして計算します。
- ②答えが約分できるときは、約分します。

**答え**

$$\textcircled{1} \quad 3\frac{1}{3} - 1\frac{1}{2} = 3\frac{2}{6} - 1\frac{3}{6}$$

$$= 2\frac{8}{6} - 1\frac{3}{6}$$

$$= 1\frac{5}{6}$$

$$\textcircled{2} \quad 5\frac{1}{6} - 3\frac{9}{10} = 5\frac{5}{30} - 3\frac{27}{30}$$

$$= 4\frac{35}{30} - 3\frac{27}{30}$$

$$= 1\frac{8}{30}$$

$$= 1\frac{4}{15}$$

●補助教材5ページ

$$\textcircled{4} \quad 2\frac{4}{5} - 1\frac{2}{3} \qquad 3\frac{2}{3} - 1\frac{1}{4} \qquad 1\frac{1}{3} - \frac{1}{8}$$

$$3\frac{1}{4} - 2\frac{11}{12} \qquad 3\frac{7}{10} - 2\frac{4}{5} \qquad 2\frac{1}{6} - 1\frac{5}{12}$$

答え

$$2\frac{4}{5} - 1\frac{2}{3} = 2\frac{12}{15} - 1\frac{10}{15} = 1\frac{2}{15}$$

$$3\frac{2}{3} - 1\frac{1}{4} = 3\frac{8}{12} - 1\frac{3}{12} = 2\frac{5}{12}$$

$$1\frac{1}{3} - \frac{1}{8} = 1\frac{8}{24} - \frac{3}{24} = 1\frac{5}{24}$$

$$3\frac{1}{4} - 2\frac{11}{12} = 3\frac{3}{12} - 2\frac{11}{12} = 2\frac{15}{12} - 2\frac{11}{12} = \frac{4}{12} = \frac{1}{3}$$

$$3\frac{7}{10} - 2\frac{4}{5} = 3\frac{7}{10} - 2\frac{8}{10} = 2\frac{17}{10} - 2\frac{8}{10} = \frac{9}{10}$$

$$2\frac{1}{6} - 1\frac{5}{12} = 2\frac{2}{12} - 1\frac{5}{12} = 1\frac{14}{12} - 1\frac{5}{12} = \frac{9}{12} = \frac{3}{4}$$

●補助教材5ページ

⑤ 次の計算のしかたを考えましょう。

$$\textcircled{1} \quad \frac{1}{2} + \frac{2}{3} + \frac{1}{4} \qquad \textcircled{2} \quad \frac{1}{4} + 1\frac{1}{6} - \frac{5}{8}$$

◎考え方 分母の異なる3つの分数を通分して計算します。

答え

$$\textcircled{1} \quad \frac{1}{2} + \frac{2}{3} + \frac{1}{4} = \frac{6}{12} + \frac{8}{12} + \frac{3}{12} = \frac{17}{12} = 1\frac{5}{12}$$

$$\textcircled{2} \quad \frac{1}{4} + 1\frac{1}{6} - \frac{5}{8} = \frac{6}{24} + 1\frac{4}{24} - \frac{15}{24} = 1\frac{10}{24} - \frac{15}{24} = \frac{34}{24} - \frac{15}{24} = \frac{19}{24}$$



●補助教材5ページ

6 はるかさんの家では、1ℓあったジュースを、朝に $\frac{1}{3}$ ℓ、昼に $\frac{2}{5}$ ℓ飲みました。  
ジュースはあと何ℓ残っていますか。

◎考え方  $1 - \frac{1}{3} - \frac{2}{5} = \frac{15}{15} - \frac{5}{15} - \frac{6}{15} = \frac{4}{15}$

答え  $\frac{4}{15}$ ℓ

●補助教材5ページ

5  $1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{4}$        $\frac{1}{4} + \frac{5}{6} - \frac{2}{3}$        $5 - \frac{3}{4} - 1\frac{5}{6}$   
 $2\frac{1}{3} + \frac{3}{8} + \frac{5}{6}$        $3\frac{7}{12} - \frac{5}{8} + \frac{1}{4}$        $5\frac{8}{9} - \frac{3}{4} - \frac{11}{12}$

答え  $1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{4} = \frac{4}{4} - \frac{2}{4} + \frac{1}{4} = \frac{3}{4}$   
 $\frac{1}{4} + \frac{5}{6} - \frac{2}{3} = \frac{3}{12} + \frac{10}{12} - \frac{8}{12} = \frac{5}{12}$   
 $5 - \frac{3}{4} - 1\frac{5}{6} = 4\frac{12}{12} - \frac{9}{12} - 1\frac{10}{12} = 2\frac{5}{12}$   
 $2\frac{1}{3} + \frac{3}{8} + \frac{5}{6} = 2\frac{8}{24} + \frac{9}{24} + \frac{20}{24} = 3\frac{13}{24}$   
 $3\frac{7}{12} - \frac{5}{8} + \frac{1}{4} = 3\frac{14}{24} - \frac{15}{24} + \frac{6}{24} = 3\frac{5}{24}$   
 $5\frac{8}{9} - \frac{3}{4} - \frac{11}{12} = 5\frac{32}{36} - \frac{27}{36} - \frac{33}{36} = 4\frac{8}{36} = 4\frac{2}{9}$

# 合同な図形

## ここで勉強すること

- ◎合同な図形の意味を理解する。
- ◎合同な図形で，対応する頂点，辺，頂点がわかる。
- ◎2つの図形が合同であるかどうかを調べることができるようになる。
- ◎合同な三角形や四角形をかくことができるようになる。

## これまでに勉強したこと

### 1 三角形

- ▶ 分度器での角度のはかり方やかき方
- ▶ コンパスを使って三角形をかく。
- ▶ 四角形の図形の性質，対角線の性質

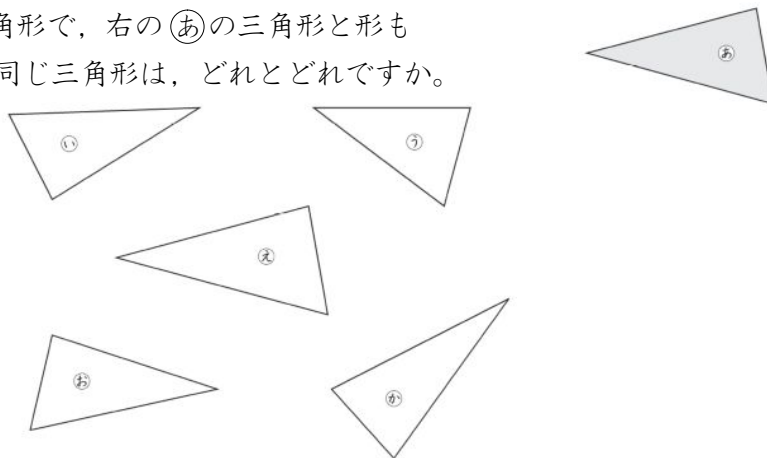
## 教科書のまとめ

### 1 合同

- ▶ きちんと重ね合わせることができる2つの図形は，**合同**であるといいます。
- ▶ 合同な図形で，重なり合う頂点や辺や角を，それぞれ，**対応する頂点**，**対応する辺**，**対応する角**といいます。
- ▶ 合同な図形では，対応する辺の長さは等しく，対応する角の大きさも等しくなっています。
- ▶ 3つの辺の長さがわかれば，合同な三角形をかくことができます。
- ▶ 2つの辺の長さど，その間の角の大きさがわかれば，合同な三角形をかくことができます。
- ▶ 1つの辺の長さど，その両はしの角の大きさがわかれば，合同な三角形をかくことができます。

●補助教材7ページ

1 下の三角形で、右の(あ)の三角形と形も大きさも同じ三角形は、どれとどれですか。



- (1) (あ)の三角形を写し取り、重ねて確かめましょう。
- (2) うら返して重なるものを調べましょう。

◎考え方 写し取った(あ)の三角形と、きちんと重なる三角形がどれかを調べましょう。

答え (い), (あ)

大切なこと

きちんと重ね合わせることができる2つの図形は、合同であるといいます。

●補助教材8ページ

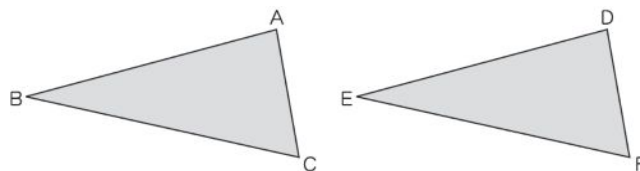
身のまわりで合同な形をしたものを見つけましょう。

答え (例) はがき, テレホンカード, 教科書など

●補助教材8ページ

2 下の2つの三角形は合同です。

この2つの三角形を重ねたとき、重なり合う頂点<sup>ちゆうてん</sup>, 辺, 角について調べましょう。



- (1) 重なり合う頂点をいいます。
- (2) 重なり合う辺をいいます。
- (3) 重なり合う角をいいます。

◎考え方 三角形<sup>エービーシー</sup>ABCを写し取り，それを三角形<sup>ディーイーエフ</sup>DEFに重ね合わせて，どの頂点，辺，角どうしが重なり合うかを調べます。

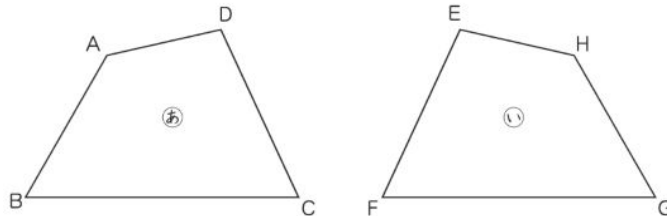
- ◎答え (1) AとD, BとE, CとF  
 (2) ABとDE, ACとDF, BCとEF  
 (3) 角Aと角D, 角Bと角E, 角Cと角F

**大切なこと**

合同な図形で，重なり合う頂点や辺や角を，それぞれ，対応する頂点，対応する辺，対応する角といいます。

●補助教材9ページ

3 下の2つの四角形について調べましょう。



- (1) (a)と(i)の四角形は合同ですか。  
 (2) 対応する頂点，対応する辺，対応する角をそれぞれをいみましょう。

◎考え方 (1) (a)の四角形を写し取り，それを(i)の四角形に重ね合わせて合同かどうかを調べます。

- ◎答え (1) 合同  
 (2) 対応する頂点…AとH, BとG, CとF, DとE  
 対応する辺…ABとHG, BCとGF, CDとFE, DAとEH  
 対応する角…角Aと角H, 角Bと角G, 角Cと角F, 角Dと角E

**大切なこと**

合同な図形では，対応する辺の長さは等しく，対応する角の大きさも等しくなっています。

●補助教材9 ページ

4 下の四角形で、1本の対角線で分けると合同な三角形が2つできるのはどれですか。

また、2本の対角線で分けて調べましょう。

①



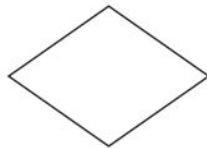
台形

②



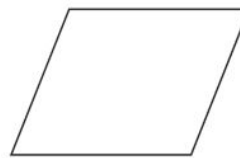
長方形

③



ひし形

④



平行四辺形

◎考え方 台形、長方形、ひし形、平行四辺形をそれぞれ写し取ります。

まず、1本ずつ対角線をひき、切り取り、2つの三角形に分け、合同かどうかを調べます。

次に、同じように写し取り、2本ずつ対角線をひき4つの三角形に分け、合同かどうかを調べます。

答え

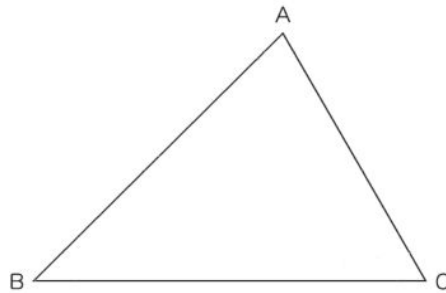
1本の対角線…②, ③, ④

2本の対角線…② (2組の合同な三角形), ③ (4つの合同な三角形),

④ (2組の合同な三角形)

●補助教材 10～12 ページ

- 1 右の三角形ABCと  
合同な三角形のかき方  
を考えましょう。



- (1) うすい紙に写してかきましよう。
- (2) 辺の長さや角の大きさをはかってかく方法を考えましよう。
  - ① 辺BCの長さを、コンパスではかってかきましよう。
  - ② 残りの頂点Aの位置をきめるには、どの辺の長さやどの角の大きさを  
使えばよいですか。
- (3) 3人のかき方で、6ページの三角形ABCと合同な三角形をかきましよう。
- (4) かいた三角形が、もとの三角形と合同であるか確かめましよう。

- ◎考え方 (1) はじめに、3つの頂点を写し取ります。3つの頂点を線で結んで三  
角形ABCをかきます。
- (2) ① 線をひき、辺BCの長さをコンパスではかって長さを写し取ります。
  - ② どの辺の長さやどの角の大きさを使えば頂点Aがきまるかを考え  
ます。
  - (4) (3)でかいた三角形に、(1)で写し取った三角形を重ね合わせます。

- ◎答え (1) (図省略)
- (2) ① (図省略)
  - ② 辺ABと辺AC, 辺ABと角B, 辺ACと角C, 角Bと角C
  - (3) (図省略)
  - (4) (図省略)

●補助教材 12 ページ

- 1 次の三角形をかきましよう。

- ① 辺の長さが3cm, 4cm, 5cmの三角形
- ② 2つの辺の長さが5cm, 7cmで、その間の角度が45°の三角形
- ③ 1つの辺の長さが6cmで、その両はしの角度が2つとも50°の三角  
形

◎考え方 ① 3つの辺の長さがわかっています。

まず、1つの辺をかき、残りの2つの辺を補助教材11ページの「ゆうたさん」のかき方でかきます。

② 2つの辺の長さど、その間の角の大きさがわかっています。

まず、1つの辺をかき、残りの辺とその間の角を補助教材11ページの「かおりさん」のかき方でかきます。

③ 1つの辺の長さど、その両はしの角の大きさがわかっています。

まず、6cmの辺をかき、その両はしの2つの角を補助教材12ページの「あきらさん」のかき方でかきます。

答え ① (図省略) ② (図省略) ③ (図省略)

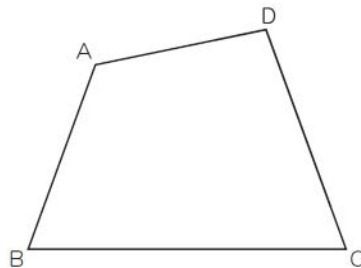
### 大切なこと

合同な三角形は、それぞれ次のときにかくことができます。

- ・ 3つの辺の長さがわかっている。
- ・ 2つの辺の長さど、その間の角の大きさがわかっている。
- ・ 1つの辺の長さど、その両はしの角の大きさがわかっている。

### ●補助教材13~14ページ

- 1 右の四角形ABCDと合同な四角形のかき方を考えましょう。



- (1) 合同な四角形は、4つの辺の長さがわかればかけますか。
- (2) はじめに、辺BCの長さをコンパスではかってかきましよう。  
残りの頂点A、Dのうち、頂点Aの位置はどのようにすればきまりますか。
- (3) 頂点Dの位置はどのようにすればきまりますか。
- (4) 2人のかき方を説明しましよう。
- (5) ほかの方法でも、四角形ABCDと合同な四角形をかいてみましよう。

- ◎考え方 (1) 4つの辺の長さがわかっても、補助教材13ページの図のようにいろいろな四角形を書くことができます。
- (2) 対角線ACをひいて、三角形ABCと合同な三角形のかき方を考えます。
- (3) 四角形ABCDの辺の長さをコンパスではかったり、角の大きさを分度器ではかって頂点Dの位置をきめます。

答え

- (1) かけない。
- (2) (図省略)
- ・辺ABと辺ACの長さをそれぞれコンパスではかってかく。
  - ・角Bの大きさをはかり、辺ABの長さをコンパスではかってかく。
  - ・角Bと角Cの大きさをそれぞれはかってかく。など
- (3) (図省略)
- (4) みどりさん…辺AB, 辺BC, 対角線ACと等しい長さをそれぞれ、コンパスで写し取って頂点Aをきめる。  
⇒辺AD, 辺CDと等しい長さをそれぞれ、コンパスで写し取って頂点Dの位置をきめる。
- さとりさん…辺BCと等しい長さをコンパスで写し取り、角Bの大きさをはかってかき、辺ABと等しい長さをコンパスで写し取って頂点Aをきめる。  
⇒角Cの大きさをはかってかき、辺CDと等しい長さをコンパスで写し取って頂点Dをきめる。
- (5) 辺BCをかき、頂点Bから角Bの大きさと辺ABの長さを取り、頂点Cから辺CDの長さを写し取ってかく。など

●補助教材14ページ

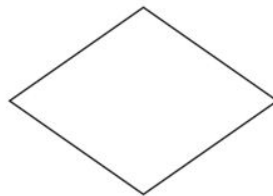
☺ 1

下の平行四辺形やひし形と合同な図形をかきましょう。

①



②



- ◎考え方 1本の対角線をひいて2つの三角形にして、合同な四角形をかく方法を考えます。



答え

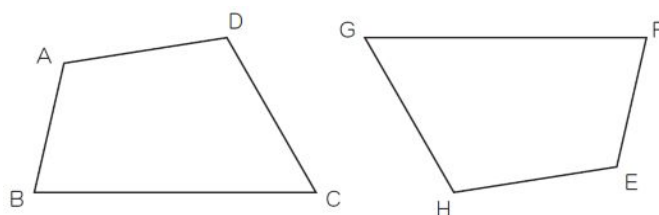
① (図省略)

② (図省略)

たしかめよう

●補助教材 15 ページ

1 下の2つの四角形は合同です。対応する頂点, 辺, 角をいみましょう。



◎考え方 三角形ABCを写し取り, それを三角形DEFに重ね合わせて, どの頂点, 辺, 角どうしが重なり合うかどうかを調べます。

答え

対応する頂点…AとE, BとF, CとG, DとH

対応する辺…ABとEF, BCとFG, CDとGH, ADとEH

対応する角…角Aと角E, 角Bと角F, 角Cと角G, 角Dと角H

●補助教材 15 ページ

2 次の三角形をかきましょう。

① 2つの辺の長さが3.5cm, 5cmで, その間の角度が65°の三角形

② 1つの辺の長さが5cmで, その両はしの角度が50°と45°の三角形

◎考え方 ① 2つの辺の長さとその間の角の大きさがわかっています。

② 1つの辺の長さ, その両はしの角の大きさがわかっています。

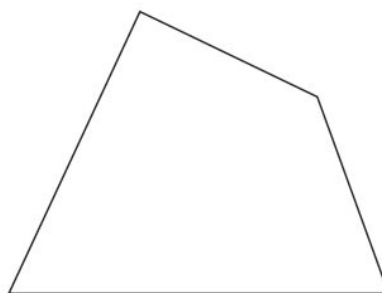
答え

① (図省略)

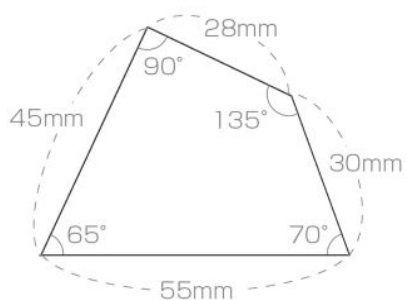
② (図省略)

●補助教材 15 ページ

3 右の図と合同な四角形をかきましょう。



◎考え方 必要な辺の長さや、角の大きさをはかってかきます。



答え (図省略)